

清野菜名

Profile

せいのな ● 1994年10月14日生まれ、愛知県出身。07年にティーン誌の専属モデルとしてデビューし、卒業後、女優活動を開始。全国ネットドラマ初主演の「トットちゃん!」(17年テレビ朝日系)で黒柳徹子役を演じ、注目を集める。ほか出演作に「半分、青い。」(18年NHK総合ほか)、「今日から俺は!!」(18年日本テレビ系)など。

撮影=諸井純二 (Rooster) / 取材・文=大西淳子 / ヘアメイク=光野ひとみ
スタイリスト=下山さつき / 編集協力=千葉由知 (ribelo visualworks)

倉本聰さんが
私のイメージでヒロインを
描いてくださいました



SA・PA&ドライバー問一答

Q. SA・PAでよく買うもの

A. 「ご当地のソーセージやふりかけを買ったり、肉まんや揚げタコ焼きを食べたりします」

Q. GWに行きたいスポット

A. 「山登りがしたいです。登山はリフレッシュできて達成感もあるのがいいですね」

Q. もしSA・PAをプロデュースするなら

A. 「親が周囲に気兼ねなく食事できるような、子供が安全に遊べるスペースを作りたいです」

©テレビ朝日



「やすらぎの刻〜道」

毎週月〜金
12:30~12:50
テレビ朝日系

STORY

「やすらぎの郷」(17年)の続編。高級老人ホーム・やすらぎの郷に住む脚本家の菊村栄(石坂浩二)は、かつてボツになったシナリオからヒントを得て、「道」の執筆を始めた。山梨の養蚕農家が舞台の「道」のヒロインは、しの(清野菜名・風吹ジュン)。身寄りもなくして14歳で根来家に引き取られたしのは、やがて根来家の四男・公平(風間俊介・橋爪功)と結婚。昭和初期から現代までを生きたこの夫婦の生涯を、壮大なスケールで描いていく。

STAFF & CAST

監倉本聰 田清野菜名、風吹ジュン、橋爪功、風間俊介、石坂浩二、浅丘ルリ子、加賀まりこ、藤竜也、ミッキー・カーチスほか

高 級老人ホームの人間模様を描いた帯ドラマ「やすらぎの郷」(17年テレビ朝日系)の続編、「やすらぎの刻〜道」でヒロインを演じているのが清野菜名さん。脚本は巨匠・倉本聰、放送期間は1年という大作だけに、最初は「私で大丈夫かな、頑張らなきゃ」と背筋が伸びたそう。

「前作で私は別の役で出演したのですが、その際に倉本さんが私に目をとめてくださり、今回、しんという役をいただきました。倉本さんからは『あなたをイメージして書いたから、そのままやってください』とうれしいお言葉をかけていただいたので、台本を読んで自分が感じたままに演じています」

しのは前作の主人公である脚本家・菊村栄(石坂浩二)が執筆するシナリオ「道」の主人公。山梨の養蚕農家を舞台に、昭和から平成を生きたしのと夫・公平(風間俊介・橋爪功)の生涯を、劇中劇で描いていく。

「序盤は、戦争が進行していく中で、人々の生き方が変わっていく様子が描かれます。最初に台本を読んだ時に、当時の人々の生きる力の強さを感じました。もし今戦争が起きたら、こんなふうに住生活する知恵はないでしょうし、昔の人々のパワーが見える作品になっていると思います」

ロケ地の山梨へはクルマ移動。日帰りだけに大変だが、山梨ならではの楽しみもあるそうだ。

「早く終わった時はおそばを食べたり帰ったり、みんなで温泉に寄ったり。山梨は魅力的な温泉が多いので、いつかほつたらかし温泉(山梨市)にも行ってみたいです」

自身は運転する機会が少ないが、昨年栃木で撮影をしていた際はこんなドライブをしたことも。

「東京への帰路で『このサービスエリアまで』と決めて、きっちりそこまで運転するんです。その時に寄った羽生PA(東北自動車道・上り)が、江戸の町みたいで楽しかったです。SA・PAはワクワクできるので大好きですね!」